

彼女たちの未来を、歩くことで支えよう。

歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2026」のご提案



目次 | 歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2026」のご提案



p.3 国際NGO「CARE」およびケア・インターナショナル ジャパン

p. 8 SDG6 & SDG5 | 「水」に関する地球規模の課題

p. 11 歩く国際協力「Walk in Her Shoes」

 p. 12 キャンペーン概要

 p. 15 法人参加方法

 p. 20 スケジュール

(参考情報)

p. 21 昨年度キャンペーン報告

 p. 22 総括

 p. 33 法人連携報告

CARE (ケア・インターナショナル) The Cooperative for Assistance and Relief Everywhere

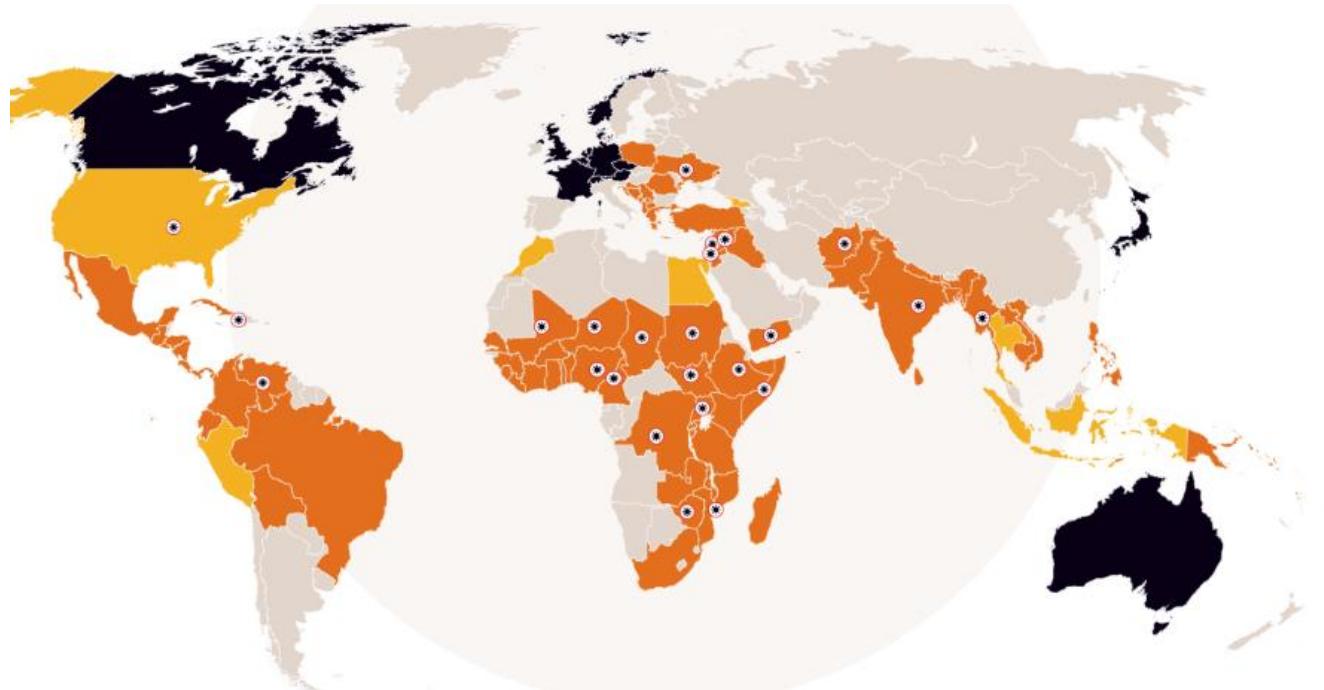


設立の経緯と歴史

1945年 戦後、アメリカの22の団体や個人が協力して、欧州向け緊急支援物資の送付を開始

1948年 日本向け支援を開始。8年間に亘り、**1,000万人の日本人**が支援をうける

1987年 日本が経済成長を遂げる中、今度は**日本こそが世界で苦しむ人々の助けになろう**と「ケア・ジャパン」発足



CAREパッケージ

そして、今年 80周年

世界120カ国で、1万人の職員が活動。
年間1,450以上の事業を通じて、
5,300万人の人々を支援しています。
(2024年度実績)

ビジョン、ミッション、フォーカス

Our vision

We seek a world of hope, inclusion and social justice,
where poverty has been overcome and all people live with dignity and security.

**CAREは、貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、
希望に満ちた、包摂的で公正な世界を目指しています。**

Our mission

Save lives, defeat poverty, and achieve social justice.

**CAREは、人々の命を守り、貧困をなくし、公正な社会を創ることを使命とし、
世界中でその実現に向けて取り組みます。**

Our focus

We put women and girls in the center
because we know that we cannot overcome poverty until all people have equal rights and opportunities.

**CAREは、「女性と女子」を活動の中心にすえます。
貧困をなくすためには、女性と女子を含むすべての人々が平等な権利や機会を得る必要があります。**

CAREとSDGs

CAREにとっての優先取組課題（マテリアリティ）



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

CAREは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



1. 貧困をなくそう

世界では、およそ10人にひとりが1日1.90米ドル未満で生活しています。
貧困層の7割が女性と子どもです。



5. ジェンダー平等を実現しよう

女性は、教育、就業、結婚など、様々な機会で平等に扱われていません。



11. 住み続けられるまちづくりを



13. 気候変動に具体的な対策を



16. 平和と構成をすべての人々に

紛争や自然災害の頻度が高まり、被害規模も甚大に。
さらには複数の国や地域で同時に発生することが特徴となっています。

ケア・インターナショナル ジャパンの支援活動

1. 開発支援



東ティモール

学習教材「ラエック」を通じた自立支援事業



東ティモール

遠隔集落における生業と食の改善事業



ネパール

被災地における
女子教育および保健衛生改善事業

ケア・インターナショナル ジャパンの支援活動

2. 緊急復興支援

ウクライナ

ウクライナ危機緊急支援事業

ガザ

ガザ人道危機緊急支援事業



「水」に関する地球規模の課題（2000→2024）



低所得国、脆弱な環境、農村コミュニティ、子ども、少数民族などは、今、深刻な不平等、そして最大の格差に直面しています。

2000年から2024年の間に、世界人口は62億人から82億人に増加しました。

この期間に、世界人口の4分の1(22億人)が安全に管理された飲料水(*)を利用できるようになりました、3分の1(28億人)が安全に管理された衛生設備(*)を利用できるようになりました。

しかし、その進歩は不均一であり、依然としてアクセスできない人々の総数は減少が緩やかです。

安全に管理された飲料水サービスが欠如している総人口は減少している一方で、都市部や低所得国では、実際にその人口が増加しています。低所得国では、4億2,700万人から5億200万人に増加し、低中所得国では12億人から7億2,900万人へ減少するなど、格差の拡大が顕著になっています。

(*)「安全に管理された飲料水と衛生サービス」の定義:

敷地内にある水源からの飲料水、汚染がなく、必要なときに利用できるようにし、廃棄物を安全に処理および処分する衛生的なトイレを使用します。



©Josh Estey/CARE



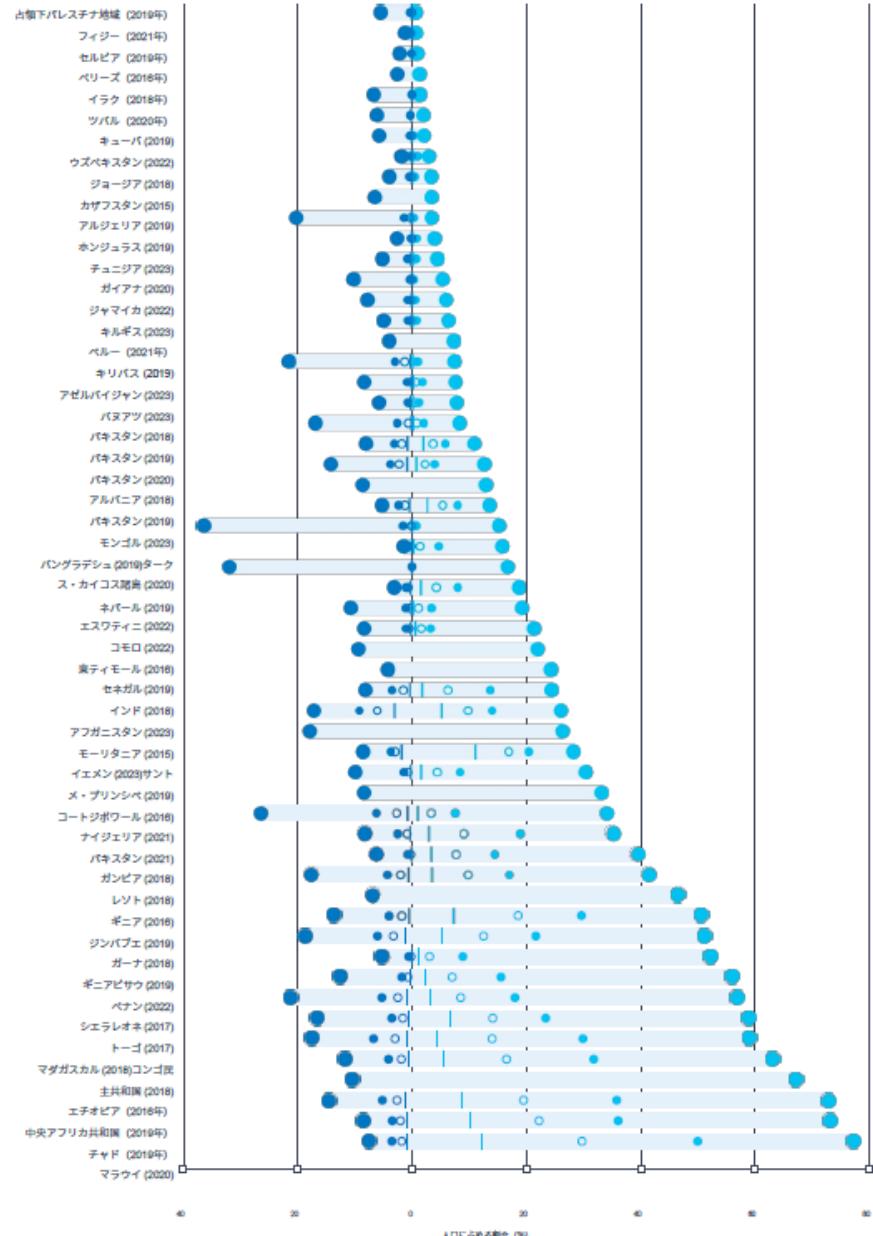
©Violet Organization

世界の4人に1人が 依然として安全な飲料水にアクセスできない

未だに、**未処理の地表水源から直接飲む1億600万人を含む、21億人が**、安全に管理された飲料水を利用できません。

これまでの延長戦上では、2030年までの**SDG6の達成が危ぶまれています。**

SDGs6.1（2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ公平なアクセスを達成する）に向けては、**現在の進捗率を8倍に高める必要がある**とされています。



◀女性と少女、または男性と少年が主に水汲みを担当し、1日あたり30分、60分、または120分以上を水汲みに費やす世帯の割合（2015～2023年の選定調査）（%）
(● 男性と少年 ● 女性と少女)



子どもたち（特に女子）の健康、教育、将来にも影響

ほとんどの国では、**女性と女児が主に水汲みを担当しており、**サハラ以南のアフリカや中央アジア、南アジアの多くの国で、**1日30分以上を水の収集に費やしています。**

これにより、女性や女児は、**教育や就労の機会を奪われると同時に、肉体的・精神的な負担も抱えています。**

特に、**15～19歳の思春期の少女**は、月経中、さらなる困難に直面することが多く、**成人女性よりも、学校、仕事、社交的な娛樂などに参加する可能性が低くなります。**

歩く国際協力「Walk in Her Shoes」



**WALK
IN HER
SHOES**  **15th**



歩く国際協力「Walk in Her Shoes」

水 × ジェンダーの2つの課題解決と啓発に関するグローバル・キャンペーン



水汲みのために、毎日歩かなければならぬ
女性や女の子たち。

歩く国際協力「Walk in Her Shoes」は
“彼女”たちの身になって歩く
シンプルで健康的な国際協力です。



アジア最貧国「東ティモール」
農村地域の人々に水へのアクセスを

皆さまからいただいたキャンペーンへのエントリー費・寄付金は、
キャンペーンに関わる諸経費を除き、当財団が東ティモールで実施する
「遠隔集落における生業と食の改善事業」を通じて、**農業や生活における
水へのアクセス改善のため**に大切に使わせていただきます。



キャンペーン概要



参加方法 “好きな時間、好きな場所で歩く”

キャンペーン期間中、水汲みのために毎日8,000歩（約6km）を歩くとされる女性や女子の身になって、日常生活の中で歩き、日々の歩数を報告します。

- 実施期間： 2026年3月8日（国際女性デー）から5月末
- エントリー期間： 1次募集 2025年12月10日（水）13時～2026年2月12日（木）23:59
2次募集 2026年2月13日（金）10時～4月23日（木）23:59
- エントリー費（ウォーキング・パートナー特別価格/一般参加費は3,500円）：

社員様（初回）	3,000円
社員様（リピーター）	2,000円
ご家族・知人等	2,000円（社員がリピーターか否かは問わず）
- 歩数報告： 指定アプリALKOOとの自動連携もしくはウェブからの手動入力
- チャリティ： エントリー費に加えて、歩数500歩につき1円が、特別協賛および協賛企業各社から寄付されます。



その他の参加方法



ウォークイベントに参加

2026年3月22日（日）開催。

住友生命「Vitality」プラザ（銀座）
を拠点にしたコース（予定）。

彼女の身になって8,000歩（約6km）
を歩き、クイズや水遊び体験などのア
クティビティを通じ、途上国の水問題
や女性の貧困について理解を深めます。

自社でイベントを企画・実施

例えば、海岸清掃ウォークや地元の水
源巡りなど、キャンペーンの主旨への
理解を深め、広めるためにイベントを
自主開催いただきます。

今年から、

「Walk in Her Shoes2026 in ●●」
などの名称もご利用いただけます。

CAREの「C」や「水」の写真などを 投稿

CAREの「C」を見つけて、作って、
写真を撮影。また「水」に関わる写真
でもOK。「#歩く国際協力2026」を
つけて自身のSNSに投稿し、キャンペー
ンを広めていただきます。

法人の皆さまの参加方法

1つまたは複数のご支援形態をお選びいただけます。

公益財団法人である当財団へのご寄付は、一般寄付金の損金算入限度額とは別枠で、損金算入可能です。

	名称	ご支援内容	貴社のメリット（例）
1	ウォーキング・パートナー	社員参加促進 (目安となる目標は50人以上)	<ul style="list-style-type: none">当財団ウェブサイト・SNSで、社内の取組をご紹介参加社員の皆さまには、定期配信メール配信社内イベントでの当財団職員による特別活動報告
2	特別協賛	協賛金提供 (30万円以上)	<ul style="list-style-type: none">ご希望に応じ、キャンペーンTシャツに貴社ロゴをプリントウェブサイト掲載のロゴも大き目に
3	協賛	協賛金提供 (1口10万円～30万未満)	<ul style="list-style-type: none">ご希望に応じ、キャンペーンTシャツに貴社ロゴをプリント
4	協力	商品・サービス提供 or コース・マーケティング	<ul style="list-style-type: none">貴社商品・サービスの広報・マーケティング、ブランド価値向上
5	後援	広報協力	<ul style="list-style-type: none">貴社の広報、ブランド価値向上

◆すべてのご支援形態において、ウェブサイトおよびチラシ等で社名やロゴを掲載させていただきます。

◆キャンペーンご参加の成果やインパクトをお示しするために、「完了報告書」を作成します。（A4/30ページ程度）

1. ウォーキング・パートナー（社員参加促進）

1. 参加要件

- ・オンライン参加方法「好きな時間、好きな場所で歩く」でのご参加
- ・原則、1次募集期間でのエントリー完了
- ・1企業1チームとしての「チーム登録」

2. エントリー費

- ・初回参加 3,000円
- ・リピーター 2,000円
- ・ご家族・知人等 2,000円（社員様自身がリピーターか否かは問いません）
1,000円（大学生以下）

3. 申込＆決済方法

※全額法人負担ほか、社員様の自己負担や企業様と折半など、ご自由に設定可能です。

- ①企業様による一括申込＆決裁の場合は、ご請求書払い／銀行振込
- ②社員様による個別申込の場合は、申込決済サイト「Peatix」をご案内
- ③折半の場合は、上記併用。個別にご要望をお伺いします。

2. 3. 特別協賛/協賛

1. 協賛金のお願い

- ・1口10万円から、ご協賛をお願いします。

※30万円以上のご協賛は「特別協賛」となります。

2. 「特別協賛」限定特典

ウェブサイトイメージ



すべての参加形態の中でも、最上段にロゴを配置します。

また、「協賛」は、1行4社に対して、「特別協賛」については3社の掲載とし、ロゴを大きめに配置します。

Tシャツイメージ



▲今年度は、15周年ロゴ入り特別デザインを予定

キャンペーンTシャツの背面には、特別協賛・協賛企業のロゴをプリント。

特別協賛ロゴを上部に配置し、続いて協賛各社のロゴが続くレイアウトとします（協賛金額順に掲載）。

【価格】 送料税込
・個別発送：2,800円
・一括発送：2,500円

3. キャンペーン申込および参加促進

- ・キャンペーン期間中、協賛金の総額を上限に、参加者歩数や「C」や「水」の写真投稿に合わせたマッチング寄付(写真1投稿X円/500歩1円など)として、参加者コミュニケーションにも役立てられます。



4. 協力（商品・サービス提供）

1. 商品提供のお願い

- ・参加者満足度やモチベーションを高めるため、キャンペーン期間中、様々な賞を用意しています。その受賞者への「賞品」として使わせていただきます。
- また、チャリティウォークイベントでの「参加賞」としても、全員にお配りさせていただきます。
- ・例えば、以下のような商品のご提供をお願いします。いずれか、または両方のご提供も歓迎です。

	個数	1点あたりの参考価格帯
賞品 (各賞受賞者贈呈用)	10~20点	3千円以上
参加賞 (チャリティウォーク参加者＆ボランティア用)	150点	500円以上

2. コース・マーケティングを通じた支援

- ・3月8日「国際女性デー」を含む任意の期間で、寄付付き商品をご企画いただけませんか？

商品のブランド価値を上げるとともに、商品購入を通じて消費者の皆さんも、

18 Walk in Her Shoesに参加（啓発）できる取り組みの実現にご協力ください。

5. 後援（広報協力）

広報・拡散のご協力

貴社がお持ちの媒体等を通じ、広く一般の皆さまへの広報協力をお願いします。

※当財団から、写真、ロゴデータ（CAREロゴ／Walk in Her Shoesロゴ）、チラシなどをご提供します。

例えは…

- ・ホームページへのキャンペーンロゴ＆リンク掲載
- ・公式SNSでのPR配信
- ・広報誌等への掲載
- ・店舗でのポスター掲示
- ・商品へのチラシ同梱や店舗での配布 など

スケジュール

歩く国際協力「Walk in Her Shoes2026」

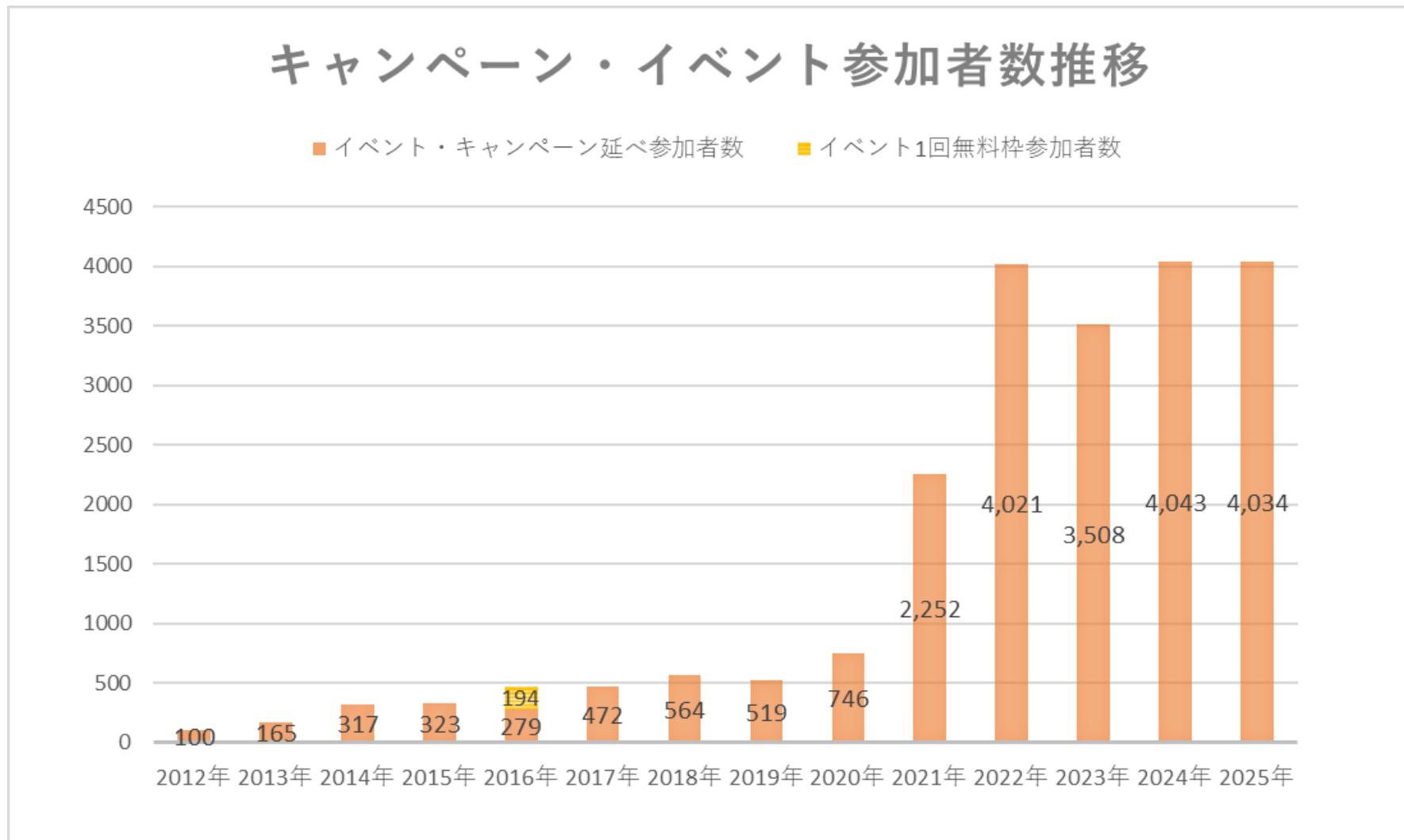
9月19日 (金)	11:00～11:30 14:00～14:30 法人様向けオンライン合同説明会開催
11月5日 (水)	<u>参加可否のご決定</u>
11月10日 (月)	11:00～12:00 16:00～17:00 ウォーキング・パートナー様オンライン合同説明会開催
12月10日 (水)	キャンペーンサイト公開 & エントリー開始
2月12日 (木)	1次募集期間終了
2月上旬	歩数報告に関するオンライン合同説明会開催（ウォーキング・パートナーご担当者対象）
3月8日 (日)	キャンペーン開始
3月22日 (日)	「世界水の日」チャリティウォークイベント@東京
4月23日 (木)	2次募集期間終了
5月31日 (日)	キャンペーン終了
<u>11月下旬までのご対応をお願いするもの</u>	
11月19日 (水)	法人口ゴなど、キャンペーン広報用データのご提出
11月28日 (金)	社員様のエントリー方法や決済方法などについてのウェブアンケートへのご回答 (ウォーキング・パートナーのみ)



ご参考 昨年度実績
Walk in Her Shoes2025

1. キャンペーン総括

WiHS2025 | 参加者数 延べ4,034人



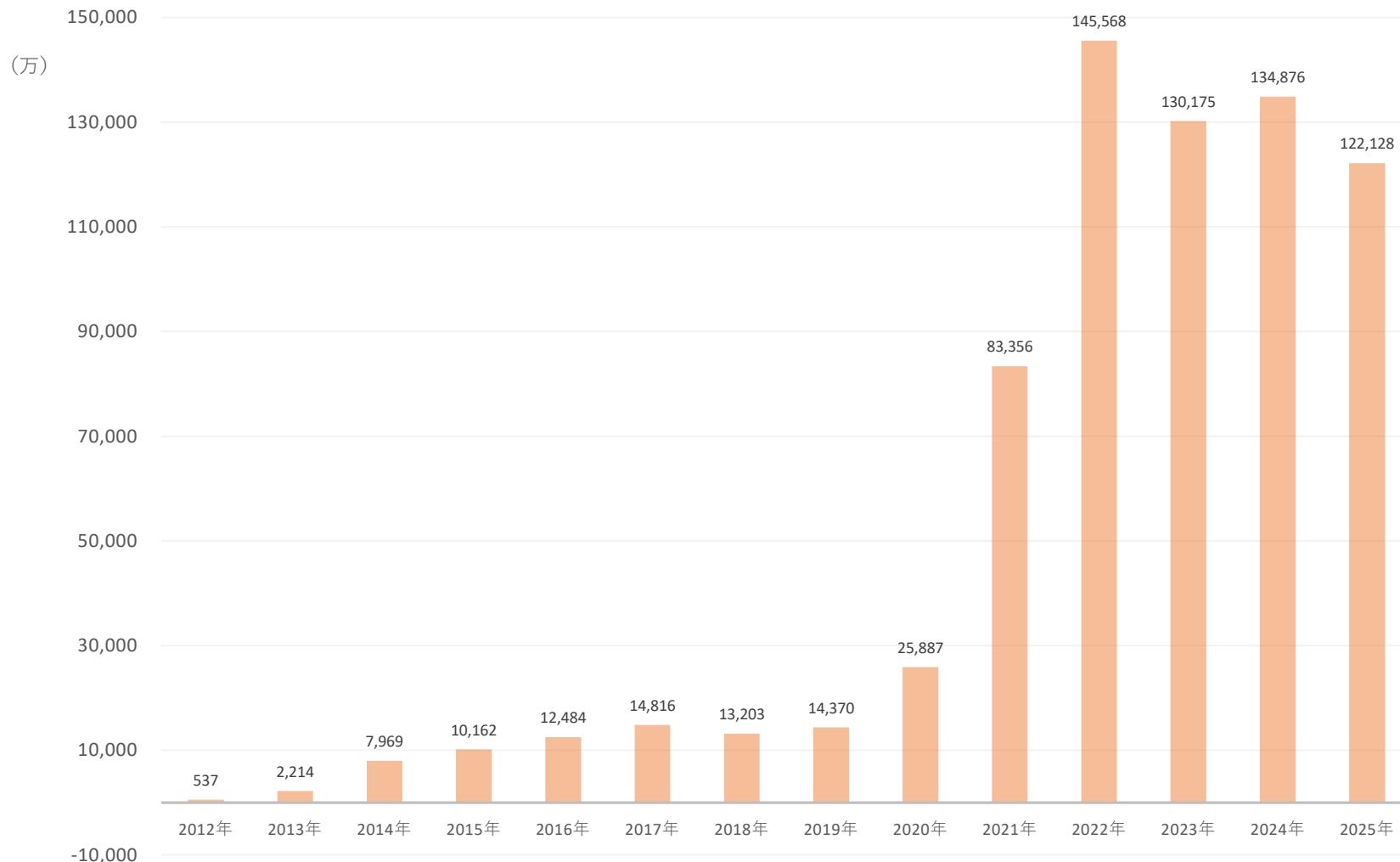
WiHS2025 | 参加者数内訳

2025年の参加者内訳		価格種別	実績(有料) (口)	実績(無料) (口)	小計
「好きな時間、 好きな場所で歩く」	一般	正規 (1次)	171		814
		正規 (2次)	493		
		リピーター	97		
		スタートキャンペーン		2	
		学生(一般)	18		
		学生(大学パートナー)	33		
	ウォーキング・パートナー	正規 (1次)	979		1,651
		正規 (2次)	6		
		リピーター	666		
小計			2,463	2	2,465
Tシャツ	一般	2,800円	43		368
	ウォーキング・パートナー	一括購入2,100円	311		
	ウォーキイベント購入	2,000円	14		
	関係者			18	18
	小計		368	18	386
イベント	「世界水の日」チャリティーウォーク		51	15	66
	歩く国際協力 Walk in Her Shoes 2025 in九州		227		227
	若狭・三方五故ツーデーマーチチャリティプログラム		100		100
	自分で企画して寄付を集める		543		543
寄付による参加	1,000円		32		34
	18,332円		1		
	100,000円		1		
合計			3,786	35	3,821

WiHS2025 | 步数 (1,221,282,679步/目標比87%/前年度比91%)

目標:14億步

報告歩数



WiHS2025 | キャンペーン収支（収益 1千万円超）

企業からの協賛金、キャンペーン参加者の減少により、収入は前年実績を下回った(△71万)。一方で、支出は歩数報告システムの開発・運用費(231万円)やTシャツ制作費(24万円)、ウェブ決済手数料、オフラインイベント実施費用などが発生したものの、前年より減少。結果、最終的な収支は前年とほぼ同水準に。

		2025年	2024年	前年比(数値)	前年比	目標 (数値)	対目標
収入	物品協賛 寄付相当額	¥714,302	¥1,188,339	¥-474,037	60.11%	¥1,200,000	59.53%
	参加費による収入	¥8,453,600	¥8,971,800	¥-518,200	94.22%	¥8,934,750	94.61%
	自主企画+その他寄付	¥167,032	¥164,161	¥2,871	101.75%	¥30,000	556.77%
	企業協賛金	¥4,900,000	¥5,100,000	¥-200,000	96.08%	¥5,740,000	85.37%
	収入合計 (物品協賛除く)	¥13,520,632	¥14,235,961	¥-715,329	94.98%	¥14,704,750	91.95%
支出	支出合計	¥3,051,468	¥3,622,050	¥-570,582	84.25%	¥4,485,900	68.02%
収支差額 (物品提供除く)		¥10,469,164	¥10,613,911	¥-144,747	98.64%	¥10,218,850	102.45%
ROI (投資対効果)		443.09%	393.04%			327.8%	

WiHS2025 | 広報実績

新聞／雑誌、ラジオ、ウェブメディア掲載等

掲載・放映日	メディア名
12月10日	日本経済新聞ネット版
12月10日	時事ドットコムニュース
12月11日	Izaニュース（産経新聞系ネットニュースサイト）
12月13日	TABI LABO
12月14日	チャリティニュース
12月18日	PR EDGE
12月19日	女性社長.net
12月24日	エフエム京都 α-station／「MORNING SPRITE」内コーナー「SPRITE TALK」
12月30日	Spaceship Earth
1月10日	CROSS FM CHEER UP! FRIDAY内コーナー「Make The Future」
2月28日	Femtech Press
3月10日	ビッグ・グローブニュース
3月10日	AppMatchニュース
3月10日	スマホゲームNavi
3月10日	Femtech Press
3月10日	日経COMPASS
3月10日	Infoseekニュース
3月15日	チャリティニュース
4月19日	J-WAVE(FM) 「NISSUI PEACEFUL BLUE」

J-WAVE 81.3FM 

DATE 2025/04/19 (SAT) TODAY

12:15 - 12:25
NISSUI PEACEFUL BLUE
♪ 甲斐まりか

WALK IN HER SHOES



NISSUI PEACEFUL BLUE

STEP

01

「個人参加」か「チーム参加」かを決めましょう

今年は、3名以上のチーム参加で、おひとり様2,000円に！

任意のチームを作り、チームに所属しながら参加することもできます。チームに参加すると、個人ランキングだけでなく、チーム別の歩数ランキングや、チームメンバーのランキングも楽しむことができます。チームで参加する方はSTEP04のエントリーの前に以下のお手続きをお願いします。

3名以上のチームでご参加の場合



1. チーム名を決めて、チーム代表者が[こちら](#)から登録ください。
2. 事務局からチーム代表者宛に、チーム登録完了のメールを送信します。
3. チーム代表者は、チームメンバーにエントリーが可能になったことを伝えてください。
4. 以下のSTEP02以降をご参照の上、各自エントリーください。エントリーフォームでご自身のチームを選択してください。

チーム参加の方法 -4ステップ-

通常¥3,000 のところ、
チーム参加なら
¥2,000とお得！

WiHS2025 | 総括 2

「啓発」を目的とする情報提供

写真などとともに、途上国の水問題やジェンダー課題、CAREの活動情報ほか、キャンペーンに関する情報など様々な情報を発信しました。

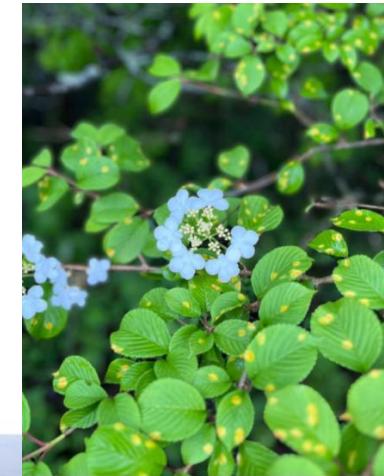
- WiHS定期通信の配信(隔週/計9回) ※メール開封率:平均59.3%
- WiHS公式SNS(Instagram/X/Facebook)での投稿
(申込受付前の2024年10月から、各媒体それぞれ計108回)
- 参加者限定Facebookを通じた相互コミュニケーション促進
- 個人宛メールでのご案内
(ウェルカムメール・歩数登録設定メール/計2回)



SNS活用による参加促進と広報強化

特に10~20代の「好きな時間、好きな場所で歩く」への参加が少ない層を主ターゲットに想定し、CAREの「C」と「水」の写真や、「C」のGPSアートを投稿、事務局のXの投稿をリポスト(参加無料)すると、協賛企業からCAREへ寄付されるというSNSを通じたチャリティ参加を促進した。

ゴールデンウィークやキャンペーン終了に向けて、寄付金UPとなる参加強化期間を設けることで一定の投稿の促進が図られたものの、写真/GPSアートの投稿による参加608件、リポストによる参加97件に留まった。



鈴木 利香さんは愛知用水 愛知池にいます。
5月1日 日進市
#歩く国際協力2025
#GPSアート
#gpsart #gpsdrawing
#GPSラン #ランニングアート
#お絵描きラン
名古屋と知多半島の水瓶の愛知池をGPSアートでCの字描いてみました。
水に恵まれている事に感謝♪

多様な自主企画イベントの実現

ウォークイベントを中心に、7つの自主企画イベントが開催された(前年比1件減)。

国際女性デーに寄せたチャリティコンサートや国際映画祭でのPR活動、また芸能人ファンの皆さんによるオンラインチャリティ企画など、趣向を凝らした多種多様な自主企画イベントが実現。

参加者は計543人(前年比104%)となった。

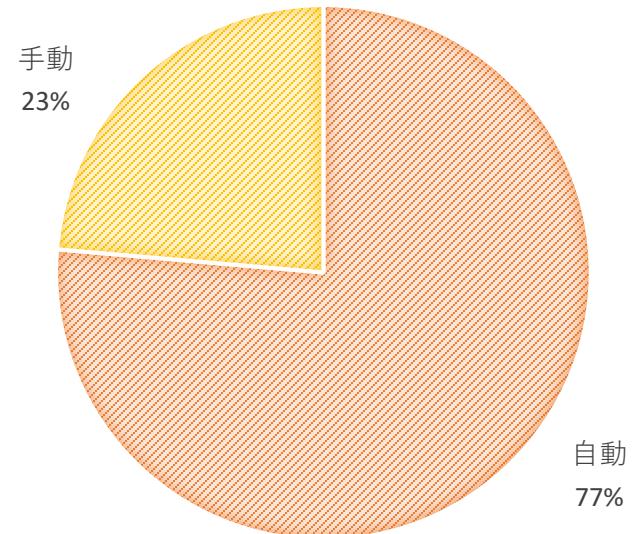
1都3県からの参加が圧倒的な割合を占める本キャンペーンにおいて、地方を含む全国からの参加者拡大に貢献した。



歩数報告方法(「自動連携」と「手動入力」)の改善

「好きな時間、好きな場所で歩く」の歩数報告に関して、本年もスマートフォン用ウォーキングアプリALKOOでの「自動連携」または「手動入力」のどちらかを、参加者が選択する形式を採用。全体の3/4となる77%の参加者が自動連携を選択した(前年度76%より増)。

歩数報告方法

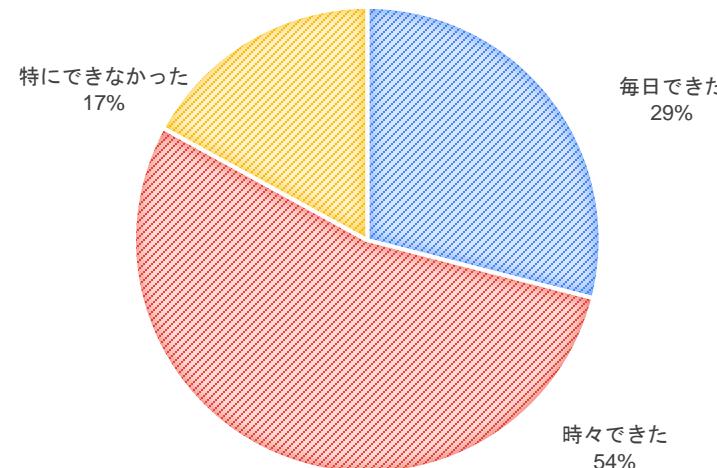


システムの改善ならびにマニュアルの改訂等により、前年度より「使いづらい」と回答する割合は減少したが、今年度も手動入力の2割、自動連携の1割の参加者が「使いづらい」と回答しており、今後も更なる改善が求められる。

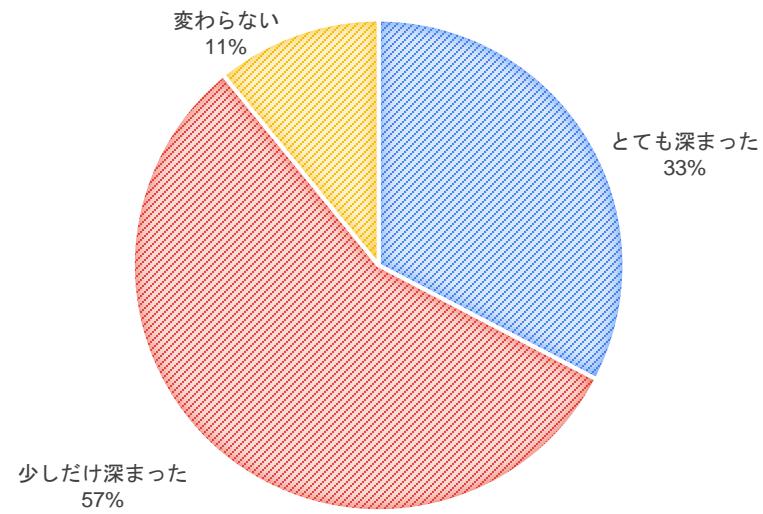
アンケート結果(キャンペーンの啓発効果)

一般参加者とPeatix経由参加者数【819人】 回答者数【60人】 アンケート回収率【7.3%】

本キャンペーンを通じて、水汲みに行かな
ければならない「彼女の身になって歩く」
を意識することはできましたか？



「Walk in Her Shoes 2025」を
きっかけに、国際協力NGO「CARE」に
ついて理解は深まりましたか？





ご参考 昨年度実績
Walk in Her Shoes2025

2. 法人連携報告

参加法人数 | 延べ62社

法人連携数について

キャンペーンへの参加・協力法人数は、延べ62法人に。
(前年比1社増／うち新規参加は、11法人)

		2025年	2024年	前年比 (数値)	前年比
特別協賛	協賛金（30万以上）	10	9	1	111%
協賛	協賛金（30万未満）	3	5	-2	60%
協力	物品サービス提供	9	8	1	113%
後援	広報支援	18	15	3	120%
ウォーキング・パートナー	社員参加促進	22	24	-2	92%

昨年度参加法人 特別協賛、協賛 | 寄付金による参加（13法人）

特別協賛

新規法人



日産トレーディング株式会社



株式会社日産フィナンシャルサービス



kao ハートポケット倶楽部



worlding!

協賛



上記ほか、花王様

昨年度参加法人 ウォーキング・パートナー | 社員参加促進（22法人）

ウォーキングパートナー

新規法人



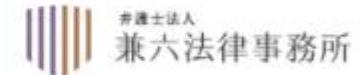
日産トレーディング株式会社



株式会社日産フィナンシャルサービス



AlixPartners



株式会社
セールスフォース・ジャパン

SonicGarden

中外製薬労働組合 Chugai Workers' Union

DIAGEO



PADECO



MIMOSA GARDEN
JIYUGAOKA



Euromonitor
International



worlding!

昨年度参加法人 協力 | 商品・サービス等提供（9法人）

新規法人



上記ほか、キリンホールディングス様

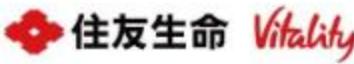
昨年度参加法人 後援 | 広報協力 (18法人)

新規法人

後援



女性社長.net



UN Women
(国連女性機関)日本事務所



特別協賛・協賛（協賛金）

特別協賛・協賛（協賛金）：

- 概ね昨年度と同等の法人数および協賛金(490万円)による支援。
- キャンペーンオリジナルTシャツの背面に各社法人口ゴをプリント。
(Tシャツ販売数:386枚)



協賛金(490万円)は、歩数や写真投稿数に応じたマッチング寄付の原資として、
キャンペーン期間中の参加促進や“歩くモチベーションUP”のために活用。

				寄付金額	
歩数	500歩1円	969,637,440	歩	1,939,275	円
	100歩1円	251,645,239	歩	2,516,452	円
	歩数計	1,221,282,679	歩	4,455,727	円
写真投稿	1枚100円	251	枚	25,100	円
	1枚300円	305	枚	91,500	円
	写真計	556	枚	116,600	円
GPSアート投稿	1枚100円	26	枚	2,600	円
	1枚300円	26	枚	7,800	円
	GPSアート計	52	枚	10,400	円
リポストキャンペーン	1件50円	97	件	4,850	円
寄付が2倍もっと応援チャリティ	1口1,000円	32	口	32,000	円
合計				4,619,577	円

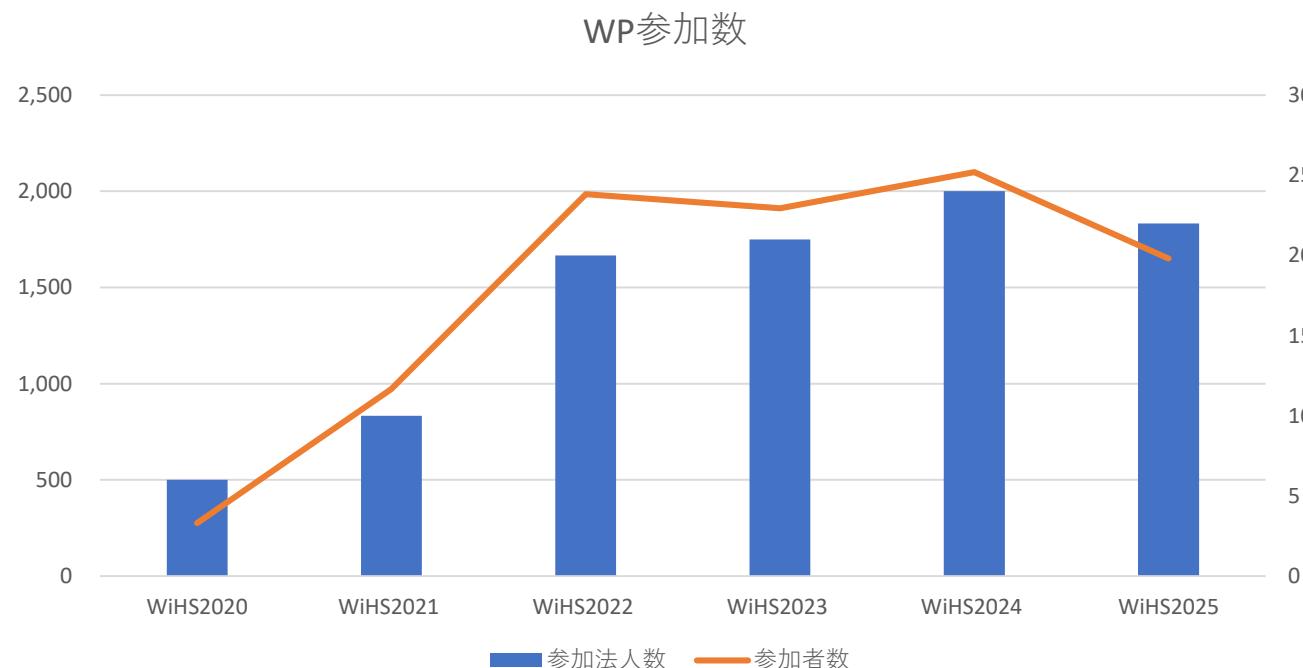
寄付金UP期間：
4月26日～5月6日
(11日間)
5月24日～5月31日
(8日間)

WP | ウォーキング・パートナー（社員参加促進）

ウォーキング・パートナー(社員参加促進):

- ・ キャンペーン全体の参加者拡大に向けて、WPとしての参加法人数の拡大に注力。
- ・ 結果、2社の新規参加を得た一方で、全体としては、昨年度比2社減、社員参加者数は、前年度比449名減の1,651人に留まり、大幅な減少となった。

▼ウォーキング・パートナー(WP)枠 設置以降の実績



	参加法人数	参加者数	正規参加	リピーター
WiHS2020	6	276	N/A	N/A
WiHS2021	10	972	635	337
WiHS2022	20	1,984	1,528	456
WiHS2023	21	1,911	1,271	640
WiHS2024	24	2,100	1,046	1,054
WiHS2025	22	1,651	985	666

WP歩数報告|781,661,976歩

法人名	チーム名	合計歩数 (A)	歩数報告者数 (B)	1人あたりの 平均歩数 (A/B)	寄付相当額	エントリー数	歩数報告率
アリックスパートナーズ・アジア・エルエルシー	AlixPartners	11,996,132	27	444,301	¥43,767	48	56%
ヴィアトリス製薬合同会社	Viatris Japan	29,757,143	54	551,058	¥109,195	95	57%
弁護士法人 兼六法律事務所	けんろくウォーク俱楽部	6,640,832	15	442,722	¥23,499	18	83%
株式会社セールスフォース・ジャパン	Salesforce Japan	8,355,338	17	491,490	¥31,655	17	100%
株式会社ソニックガーデン	SGウォーク2025	25,002,081	57	438,633	¥91,072	57	100%
ディアジオジャパン株式会社	DJKK	22,036,438	36	612,123	¥79,862	36	100%
日産自動車株式会社	NISSAN ※関連会社様含む	301,390,065	465	648,151	¥1,076,912	604	77%
New Relic株式会社	New Relic One	14,373,797	28	513,350	¥53,824	33	85%
パシフィックコンサルタント株式会社／株式会社パデコ	チームパデコPCKK	29,854,219	52	574,120	¥109,336	59	88%
株式会社フジタ	Fujita International Branch	27,141,375	43	631,195	¥98,108	44	98%
三菱電機システムサービス株式会社	MELSC	62,834,994	110	571,227	¥224,887	166	66%
森乳スマイル俱楽部	森乳スマイル俱楽部	37,363,345	56	667,203	¥135,498	61	92%
ユーロモニターインターナショナル	ユーロモニターインターナショナル	7,202,944	12	600,245	¥27,139	13	92%
リコー社会貢献クラブ・FreeWill	リコー社会貢献クラブ・FreeWill	177,351,400	309	573,953	¥648,059	354	87%
株式会社ワールディング	worlding!	20,361,873	38	535,839	¥73,109	46	83%



協力（商品サービス提供）

協力(商品サービス提供):

- 70万円相当分の多様な商品の提供。
月間歩数賞などの受賞者への賞品として、またイベントの参加賞として活用。
- ウォークイベントの会場無償提供のご協力も。



法人名	商品名
カネボウ化粧品	アリークロノビューティカラーチューニングUV
カネボウ化粧品	アリークロノビューティカラーオンUVチーク
カネボウ化粧品	アリークロノビューティジェルUV
えがおホールディングス	しあわせな味噌汁(10食/箱)
えがおホールディングス	えがおの青汁満菜(15包/箱)
えがおホールディングス	えがおのマルチビタミン(14日分)
キリンホールディングス	キリン イミューズ グリーン 500ml ペットボトル(24本入り)
ディアジオ ジャパン	Positive Drinking(適正飲酒)のロゴ入りウォーターボトル(24本)
ナビタイムジャパン	350ml緑茶ペットボトル
ビームス	BEAMSオリジナルコットンパック
ビームス	BEAMSミネラルウォーター
ミマスククリーンケア	ミマスククリーンケア薬用ハンドソープ
ミモザガーデン自由ヶ丘	即席みそ汁3袋入
住友生命保険相互会社	住友生命「Vitality」プラザ銀座Flagship店



後援（広報協力）

後援(広報協力):

- 広報強化を狙い、雑誌やラジオ、オンラインメディアとの連携ほか、広報・参加拡大を目的としたイベントの共催・協働などにも取り組むことで連携の度合いを高めた。
- 公式アンバサダーとして、3年目の就任となった「横浜F・マリノスオフィシャルチアリーダーズ トリコロールマーメイズ」の皆さんのが広報協力。



キャンペーン・アンバサダー

横浜F・マリノスオフィシャルチアリーダーズ
トリコロールマーメイズも応援しています！



キャンペーン期間中の広報

**歩く国際協力
「Walk in Her Shoes 2025」
特別協賛・協賛企業紹介**

《特別協賛企業》
日産自動車株式会社、日産トレーディング株式会社
ヴィアトリス製薬合同会社、花王ハートポケット俱楽部
カラムス・セジャトラ社、株式会社ワールディング

《協賛企業》
株式会社日産クリエイティブサービス
株式会社日産フィナンシャルサービス
日産モータースポーツ＆カスタマイズ株式会社
三菱電機システムサービス株式会社
メタネット・ジャパン株式会社
リコー社会貢献クラブ・FREEWILL

**歩く国際協力
「Walk in Her Shoes 2025」
協力企業紹介**

《協力企業》
株式会社カネボウ化粧品
株式会社えがおホールディングス
ディアジオ ジャパン株式会社
株式会社ナビタイムジャパン
住友生命保険相互会社
株式会社ビームス
ミスマクリーンケア株式会社
ミモザガーデン自由ヶ丘

**歩く国際協力
「Walk in Her Shoes 2025」
後援企業紹介**

《後援企業》
一般社団法人日本跡取り娘共育協会、株式会社WALK & WAY
Women's Jazz Festival in Japan
株式会社えがおホールディングス
公益社団法人ガールスカウト日本連盟、外務省
女性社長.net（株式会社コラボラボ）、合同会社STAR FRUIT
Spaceship Earth、一般社団法人チアリーダーズ協会
東京都、一般社団法人日本ウォーキング協会
一般社団法人日本GPSアート協会、住友生命保険相互会社
UN Women(国連女性機関)日本事務所
一般財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション
一般社団法人F・マリノススポーツクラブ、ライブラン株式会社

**ウォーキング・パートナを
ご紹介します！**

No.10:リコー社会貢献クラブ・FreeWill



**ウォーキング・パートナを
ご紹介します！**

No.5: 日産自動車株式会社



**ウォーキング・パートナを
ご紹介します！**

No.12: 三菱電機システムサービス株式会社



WALK IN HER SHOES

2025.04.16

ウォーキング・パートナーの取組紹介 vol.1
～中外製薬労働組合編～

ja VABLE シニアPFB ポスト



歩く国際協力「Walk in Her Shoes2025」キャンペーンには、多くの企業様にご参加、ご協力をいただきています。その中でも、社員の皆さんのが参加を楽しんでいる「ウォーキング・パートナー」の皆さんについて、シリーズで紹介します。

第1回は、中外製薬労働組合さんです！

4月23日に東京で開催した「世界水の日」チャリティウォークに、社員の皆さんやご家族皆さんでご参加いただきました。

企業紹介

私たち中外製薬労働組合は、中外製薬株式会社および関係会社に所属する組合員によって組織されている労働組合です。労働組合の活動において、社会貢献基金を活用した社会貢献活動についても積極的かつ継続的に取り組んでおります。主な活動として、社会福利施設および事業への援助活動や福祉活動に対する協力援助、革命による直接支援などを行っています。本年も参加呼びかけに応じていただいた全国の有志の皆さんと本イベントへ参加させていただきました。

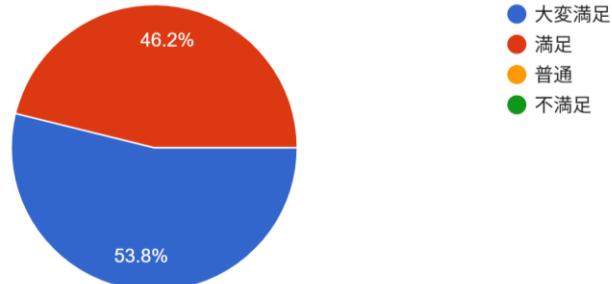


WP | 事後アンケート結果（一部抜粋）

対象者： WPご担当者様(回答数:13)
実施期間： 2025/6/1-6/12
実施方法： Google form

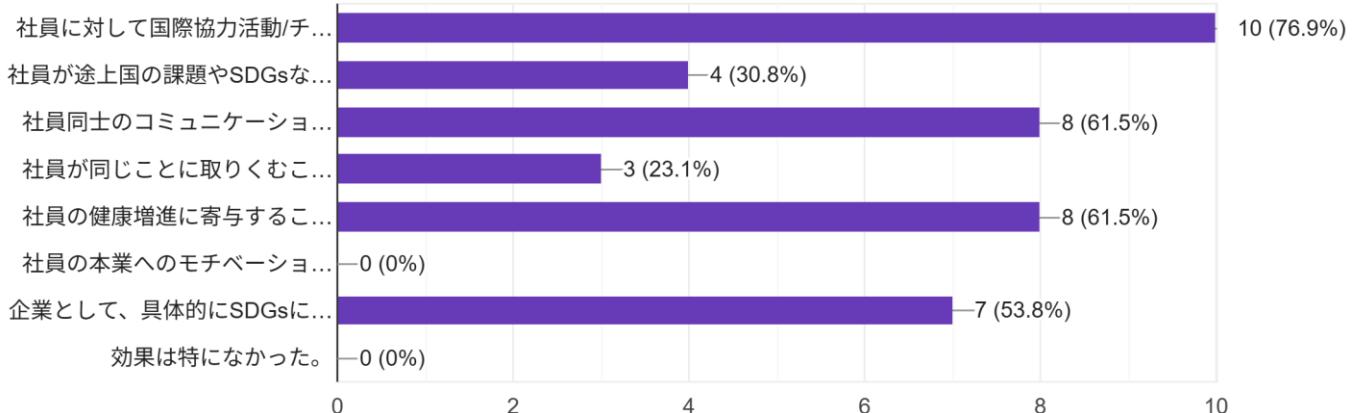
1. WiHS2025についての全体的な満足度を教えてください。

13件の回答



2. WiHS2025への参加を通じて、感じられた効果はありましたか？（複数選択可）

13件の回答



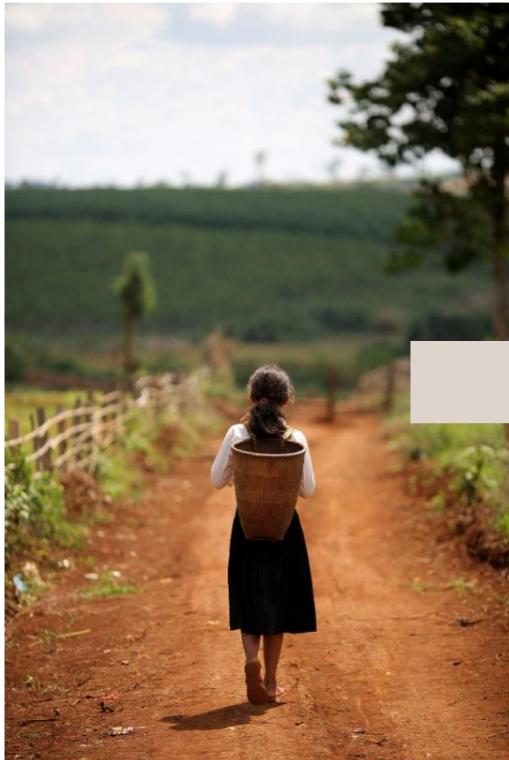
(問2. 選択肢)

- ・社員に対して国際協力活動/チャリティへの参加の機会を提供できた。
- ・社員が途上国の課題やSDGsなどに対する理解を深める機会を提供できた。
- ・社員同士のコミュニケーション促進につながった。
- ・社員が同じことに取りくむことで、一体感や連帯の醸成につながった。
- ・社員の健康増進に寄与することができた。
- ・社員の本業へのモチベーションを高める機会につながった。
- ・企業として、具体的にSDGsに貢献できる活動に参加できた。
- ・効果は特になかった。

彼女たちの未来を、歩くことで支えよう。

歩く国際協力「Walk in Her Shoes」へのご参加を通じた
あなたの1歩が、途上国の女性や女子の笑顔につながります。

たくさんのご参加、心からお待ちしています！



(公財) ケア・インターナショナル ジャパン | マーケティング部 法人連携担当 高木
〒171-0031 東京都豊島区目白2-2-1 目白カルチャービル5階
<https://www.careintjp.org/index.html> | t: 03 5950 1335 | f: 03 5950 1375
email: wihs@careintjp.org | X: CAREjp | Facebook: CAREjp | Instagram: careintjp